

「平和を守る」スケールの大きさに反響 中学校の「総合的な学習の時間」を支援



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）新潟募集案内所（所長 3陸佐 阿部浩二）は、2月17日（水）新潟市立木戸中学校（新潟市東区）の「総合的な学習の時間」を支援しました。これは、同校が「職業講話」と題し、様々な職種から参加した講師の話聞くことで生徒たちの職業に対する興味や知識を深めることを目的に行っているもので、今回は「安心・安全と防災」をテーマとした講話の依頼を受け、新潟所長と同地区を担当する長谷川1海曹が参加しました。

当日は、市役所、IT企業、空港及び介護施設等多様な業種から講師が集まり、各ブースに分かれて講話を行いました。自衛隊ブースには自衛隊に興味のある生徒23名が2つのグループに分かれて訪れました。

講話は当初、新潟所長による自衛隊の任務の解説から始まり、海外情勢を踏まえた自衛隊の役割の変化や災害派遣等、多様な職務の数々を分かり易く説明しました。長谷川1海曹は自身も経験したソマリアにおける海賊対処行動を始めとした海上自衛隊の活動を紹介し、生徒たちは普段聴くことのない話の数々に最後まで興味深く聞き入っていました。



講話後の質疑応答では「仕事上で心掛けていることは」「自衛隊で働く女性の人数は」といった質問が相次いだ他、「船酔いをしやすい人でも海自に入れますか」など、入隊に興味を持った生徒も見られました。その他にも「自衛隊が日本だけでなく、海外の人も守っていることがわかった」「平和を守るために働く自衛隊の人が格好良いと思った」など様々な感想の声を聞くことができ、子供たちの自衛隊に対する興味が高まる有意義な講話となりました。

新潟地本は、今後も各学校の総合的な学習の時間における職業講話等に積極的に参加し、子供たちが自衛隊に興味を持つ機会を提供できるよう、広報業務に邁進していきます。